

認定こども園施設整備交付金



新築された認定こども園「俱知安幼稚園」

藤幼稚園・めぐみ幼稚園に3億3,152万円

平成29年度予算審査

平成29年3月16日〜21日までの3日間、予算審査特別委員会において、平成29年度予算の審査を行いました。この予算審査特別委員会は初めて設置され、議長を除く15名の委員で構成されています。予算審査で各委員が質疑した項目や主な予算項目について記載します。また、予算について反対者2名の討論を記載します。

歳入

町税関連

町税総額23億5554万円。前年度比1億7210万円増額見込みです。

▼町民税

9億2328万円
(前年度比4744万円増)

▼固定資産税

11億1446万円
(前年度比1億81万円増)

▼町たばこ税
1億6575万円
(前年度比840万円増)

町税関連

問 増加した要因は、町民の喫煙率が上昇したもののなか。
答 はつきりと分らないが流動人口の増加が大きいと考える。

交付税関連

▼地方交付税
21億4100万円
(前年度比2億1000万円減)

問 地方交付税が減少している理由は何か。
答 町税が当初予算で1億7210万円増額し

たことによる減額が要因。また特別交付税で俱知安厚生病院の精神科に対する補助金が直接北海道より計上されることによる減額もある。

歳出

総務・議会関連

▼副町長2人体制特別職給与総額(4名)
5964万円

西江町長の公約により平成29年度から2年間、2人目の副町長が北海道開発局から着任することとなりました。

▼役場庁舎建替

基本計画、基本設計業務委託料 1638万円
地質調査、確定測量業務委託料 1172万円

町債関連

▼町債
14億210万円

問 トータルで約88億円という数字は10年前の町債金額に相当する。今後の町財政に与える影響と推移はどうなのか。
答 10年前の金額に近づいているが施設整備も必要。今後、しっかりと財政を見ながら進めていく。

国の「市町村役場機能緊急保全事業」による財政措置により平成32年度までに建築することとなりました。

問 地質・測量調査をする場所は役場敷地全体と考えていいのか。また確定しているとしたら町民の意向を聞いていないのではないか。

答 南側の現駐車場分として試算しているが決定した訳ではない。町民の意見を聞きながら進めていく。

▼「役場庁舎建設基金」設置

問 平成29年度予算には繰入れされていないがそれで良いのか。

答 経費を抑えて実行した結果生じたお金を基金に繰入する。基金繰入のために本来の事業を抑制する訳にはいかない。

※3月定例会及び3月31日の臨時議会で繰入れ。現在の基金総額は、

1億1749万円となつています。

▼議員報酬減額措置終了
議会費総額

9933万円
(583万円増)

平成17年度から続いていた報酬の減額措置期間が終了しました。

福祉関連

▼じゃがりん号運行業務委託料

2020万円

問 昨年度実証実験をした「快速じゃがりん号」は今年度どうなるか。また郊外への運行については。

答 実験結果を精査し、秋以降のダイヤ改正に合わせて検討していきたい。

郊外運行については様々な検討をしている。

▼徘徊高齢者家族支援給付(新規)

15万円
GPS装置を靴に装

着し、スマートフォン等で位置を探索する。GPS装置貸出し。

問 対象は何人と考えているか。

答 3~4人ととらえている。

環境衛生関連

▼合同納骨塚新設工事(新規)

424万円
旭ヶ丘霊苑内に新設。平成30年度6月より供用予定です。

問 仏教会と協議は出来ているのか。

答 昨年に協議している。今後においても十分に協議していく。

医療・予防関連

▼胃ピロリ菌対策事業(新規)

89万円

問 対象者と検査内容、除菌、追跡調査はするのか。

答 希望する中学2、3年生に検査を実施。除菌の費用も助成。来年度以降

は中学2年生のみ実施。

公園整備関連

▼旭ヶ丘総合公園わんぱく広場トイレ整備事業(新規)

リース料 104万円
工事費 2500万円
浄化槽保守料 35万円

解体工事

1886万円

問 跡地の面積、また跡地を住宅地として分譲できないか。

答 面積は3300㎡。土地の形状から、利用できないと判断し一括で売却を検討している。

教育関連

▼旧学校給食センター

平成28年度5名分
286万円

▼俱知安町奨学金

286万円

ら7名分に増。

子育て支援関連

▼統合保育所建設工事

9億5742万円

▼認定こども園施設整備交付金

3億3152万円

▼保育2号認定実費徴収負担分補助金

161万円

問 町の負担だけがどんどん増えていくが、幼稚園にも一定の負担をしてもらわなければならないか。

答 幼稚園としっかりと協議をし、町の意向を伝えていく。

▼放課後児童費(支援員等の拡充)

2497万円

問 今後の拡充と推移についてはどうか。

答 現在、東小以外は3年生まで受け入れている。新年度は東小も支援員を増員し3年生まで実施する。



トイレ改修予定のわんぱく広場

住宅政策関連

▼民間賃貸住宅家賃助成事業（新規） 240万円

町営住宅に入居できなかった高齢者、子育て世帯、若年層を対象に最大3年間補助。

農業関連

▼青年就農給付金事業 150万円

28年度2名分から1名分に削減。継続のみ。

▼就農サポート事業補助金（新規） 60万円

▼狩猟免許取得補助金（新規） 52万円

免許取得費8割を補助。5名分を想定。

問 免許を取得した人が、狩猟したときの処分費等の助成はないのか。

答 現在はなし。今後北海道からの助成金を含め検討したい。

商工振興関連

▼中心市街地活性化基金計画策定委託料 675万円

問 住民等から広く意見をとり入れ、策定を進める必要がある。

答 北1街区のあり方と検証を踏えうえで、広範囲からの意見を取り入れていく。

▼商店街空店舗活用事業 180万円

問 昨年度の利用数と、現在の空店舗の数は。

答 28年度は3件が利用。29年2月末の空き店舗数は11軒。

観光振興関連

▼地域おこし協力隊事業 399万円

問 1名に減った理由は、また、これまでの成果は、

答 応募者が少ないことと条件に適さなかった。今後も募集は続ける。小中学生向け無料のカードゲームの開発。

▼ひらふ高原地区観光光核施設実施設計 2034万円

建設費 7019万円（杭工事と基礎工事分）

道路、橋りよう関連

▼西6号富士見線測量業務委託料（新規） 650万円

富士見橋より道道俱知安京極線までの1.7km

▼富士見橋橋りよう修繕工事（新規） 8300万円

問 通行に支障は。片側交互通行で行う。

▼北7条通街路事業業務委託料 1408万円

補償費及び買収費 5500万円

平成28年度から平成34年度までの7カ年計画。

画。

一般会計予算案の討論

反対討論(要旨) 原田 芳男 議員

今回の予算では合同墓、準要保護の前倒し、昨年度に引き続き（こどもの）医療費無料化は高く評価するが、次に上げる事項により予算案に反対する。

副町長の複数化は全道でも8町村しかなく、それよりも現場の人を増やすべき。

新統合保育所はまだまだ煮詰めるべき点が多いが、見切り発車しようとしている。

広域連合についても脱退すべきだ。

観光中核施設は、本当に必要かどうかもと検討すべき。

ロードヒーティングの問題については、ひらふ地域は町が負担だが、駅前についてはどうか。ダブルスタンダードだ。

都市公園の管理など基本通りではないと考え、財務会計規則に準じているのか点検が必要だ。

反対討論(要旨) 小川 不朽 議員

ひらふ地区が負担するロードヒーティング電気料を町費で払う予算案に反対する事から、平成29年度一般会計予算案に反対する。

ひらふ坂のロードヒーティング料1,040万円は、観光客の安全性を重視した事業目的と答弁しているの、計上されるべき款・項は土木橋りよう費ではなく観光費であるべきだ。

道道の敷地以外の町有地と民有地にロードヒーティングを敷設したもので、民有地、町有地の電気代は道路の維持管理に該当しないと判断する。

「つなぎ期間」という名目に、工事開始の1年も前に「町で負担するしかない」とした口約束で、年間1,000万円を予算計上するとした姿勢はあまりにも無策だ。